

第89回港地域メーデー報告

諸悪の根源、安倍を倒そう!

港合同

全国金属機械労働組合 港合同

大阪市港区南市岡3・6・26

TEL 06・6583・4858

FAX 06・6583・4600

ゴールデンウィークの谷間になる五月一日、第ハ九回のメーデーが行なわれ港合同も恒例になった「港地域メーデー」として取り組みました。

春闘も終盤になった四月三日にメーデー実行委員会を開催して、今年のメーデースローガン、そしてシンボルである「鉢巻」に印す九項目のタイトルを決定しました。

メインスローガンは、昨年と一緒の「諸悪の根源安倍を倒そう」というタイトルになりました。

例年横断幕は、昌一金属支部にお願いし、休日を返上して「日朝友好なわの翼訪朝団」の横断幕と共に作成して頂いています。

とりわけ「なにわの翼訪朝団」の横断幕は、朝鮮全域の先々で広げられ朝鮮の民衆から暖かい連帯を頂いています。今年は特に「南北首脳会談」という、歴史的な融和の一步が刻まれた時だけに、これまでとは違う訪朝であつたように思います。

さて、港地域メーデー



は、S執行委員が司会を担当し、主催者の港合同中村委員長・NPOみなとT代表理事から挨拶があり、続いて来賓として朝鮮総聯西大阪支部沈基鳳委員長から連帯の挨拶が行なわれました。続いて、H副委員長から基調提起がおこなわれ、今国会の目玉になっている

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう!

「働き方改革法案」の欺瞞性に付いて丁寧な説明が行なわれました。

参加者一同で、基調提起を採択し、昌一金属支部K委員長の力強い団結ガンバローを三唱の後、みなと通りを約一時間、NPOみなどの会員も参加して元氣よく「安倍総理は退陣せよ」のコールを挙げながら行進をおこないました。

到着後は、メーデー宣言を提案の後、各分会からの近況報告を受けながらK南労会支部委員長から団結ガンバローで締めくくり二部の交流会に臨みました。

委員長 中村 吉政



朝鮮総聯西大阪支部の沈基鳳委員長



原田副委員長の基調提起



お試しで「憲法ビンゴ」にチャレンジ



集会後の交流会で地ビールと屋台が並び

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

第八九回メーデー宣言

一九八六年五月一日、アメリカの労働者は「八時間を仕事に、八時間を休息に、八時間を自分たち自身のために」と訴えゼネストに立ちあがった。この闘いがメーデーの起源である。世界の労働者の流血の闘いをもって国際的な標準労働時間として確立された八時間労働制は、日本では敗戦後初めて労働基準法に明記された。

今、八時間労働制が危ない。今国会を「働き方改革」国会とぶち上げた安倍首相は、裁量労働制拡大のためのデーター改ざんにも頼かむりしたまま、野党欠席のまま、偽りの「残業規制」「同一労働同一賃金」で偽装した「働き方（＝働かせ方）改革法案」の審議入りを強行した。労働時間規制を無くし、低額・定額の働かせ放題を合法化し、過労死を促進し、労働者を奴隷化する稀代の悪法である。絶対に阻止しよう。

非正規労働者は二〇〇〇万人を越え、年収二〇〇万円以下の労働者が四人に一人、結婚・出産・子育てができない青年層が増えつづけ少子化が進み人口は減少に転じている。八時間働けば当たり前に生活できる社会を取り戻そう。

森友・加計疑獄、公文書改ざん、防衛省日報隠し、財務官僚によるパワハラとあいづく被害女性攻撃発言など、国政・国有財産を私物化し、人事権で官僚組織を支配し、権力をほしいままにしてきた「安倍一強」政治から溜まりに溜まった膿が噴出している。盗人猛々しく全ての責任を官僚になすりつけて逃げ切るなどと到底許されるものではない。徹底的に追及し、今こそ諸悪の根源――安倍政権を退陣に追い込み、安倍九条改憲策動の息の根を止めよう。

四・二七南北首脳会談に世界が注目し、どれほどの人が感涙にむせんだことか。朝鮮戦争の終結、南北の和解と民族統一の悲願に大きな希望の灯がともった。パククネ政権を打倒した韓国キヤンドル市民革命と、これに呼応した朝鮮民主主義人民共和国の決断が今、世界史を動かしている。

日本政府は「最大限の圧力」――戦争挑発を直ち

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

に中止せよ。高校無償化排除など、在日への差別を止めよ。侵略と植民地支配、南北分断への加担という自らの過去を反省的に踏まえ、朝鮮半島の和解と東アジアの平和のために、誠実な外交努力を開始せよ。その中でしか「拉致問題」の解決も見出すことはできない。そうすれば戦争法も、九条改憲も、米軍基地も、辺野古基地建設も、自衛隊基地も、米軍と自衛隊の一体化も要らないではないか。軍事で「国民の命と暮らし」は守れない。秘密法、共謀罪も廃止し市民の自由を保障せよ。「戦争する国」は福祉を

削り、税金は戦費に消える。他国に行って殺すのも、殺されるのも、戦争を始める権力者ではなく自衛隊員、労働者市民だ。誰も責任をとらず、被災者・被曝者を「棄民」とし、原発再稼働、原発輸出につき進む安倍政治、電力会社を許すことはできない。原発再稼働・輸出を止めろ！全ての原発を廃炉に！エネルギー政策を転換せよ。

松井―大阪維新は官邸とつるんで森友学園八億値引きと認可に加担した。大阪市廃止の住民投票を断念させ、大阪の政治から退場してもらおう。万博もカジノも要らない。

住民サービスを充実させ公務員の団結権を復権させよう。

暮らしと命が第一！

社会保障解体を許さず、安倍政権を退陣させ戦争と改憲を止めよう。

港合同とNPOみなとは地域住民との連携、国

境を越えた労働者・市民の連帯を求め、平和・人権・福祉のために闘う。以上、宣言する。

二〇一八年五月一日

第八九回港地域メーデー

参加者一同

沖縄現地学習会のお知らせ

毎年恒例の南大阪平和人権連帯会議が主催する沖縄現地学習会が、今年は六月一日（金）～三日（日）の日程で取り組まれます。団全体で十九名、港合同から四名が参加します。

米軍による事件・事故の続発、圧倒的な反対の

意志を無視して強行される辺野古新基地建設、沖縄の怒りに連帯する反戦・反基地の労働運動の闘いが求められています。

現地学習を通じて、沖縄の現状理解を深め、今後の運動に活かしていきます。